

5.1251
1928

第 四 四 〇 九 号

昭和五年十二月三日

逡視總監 丸 山 鶴 吉

内務大臣安達謙蔵殿

社会局長 官 股

各 府 市 長 友 股

〆 各 府 市

衆議院新聞記者普陽筆談ニ関スル件「全場日本出版」第三報

要旨

- (1) 衆議院記者、上月二十七日、東京に於て、普陽記者と筆談す。
- (2) 筆談の間、普陽記者、送送し、今月二十九日、社会新聞、見せ、其、合標、推絶、セラル。
- (3) 上月二十日、日本出版、増刊、委員、筆談、本報、ヲ、推絶、ス。
- (4) 上月一日、普陽記者、送送し、其、筆談、同、果、行、進、セ、ル、ニ、有、被、責、申。

標記筆談ニ関シ、其後、状況、左記ノ通ニ付、推後、廣、逡視、察、中
記